

1. 概観

[事業]

2007 年度に策定した中期ビジョンと目標にそって、(1) 発展途上国の子ども支援事業、(2) 発展途上国の子どもに関する情報発信・開発教育、(3) 子どもの権利条約普及・権利促進事業、(4) ネットワーク事業を行いました。

子ども支援事業に関して、カンボジアでは、子どもの性的搾取、人身売買、児童労働を防止する活動を実施しました。特に HCC (Healthcare Center for Children 子どものためのヘルスケアセンター) との協働事業では、スバイリエン州チャントリア郡における 5 つのコミューン (地区) で 20 の小学校・中学校で子どもの権利、児童労働、性的搾取、人身売買などについての啓発活動を実施し、新たに 100 名の少女たちに奨学金を支給し、牛は新たに 25 世帯に支給しました。

そして、よりよい事業に改善するため、これまでのカンボジア・プロジェクトの成果を評価しました。

また、昨年はインド・プロジェクトにおいて、バタフライズがリジリエンスセンター建設のための土地をようやく購入でき、これまで預かっていたご寄付を送金しました。

子どもにかかわる事業を進める上で子どもを保護することを最優先できるように子ども保護ポリシーの作成を始めました (2009 年度に最終確定予定)。

シーライツトレード (子どもの権利を実現するために子どもがつくった製品を日本で販売する事業) に関しては、認知度が高まり、注文がくるようになりました。また、カンボジアへのスタディツアーを 2 回 (9 月と 3 月) 実施し、計 24 名の参加者を得ました。参加者の中には、シーライツの活動に参加する人やイベントを企画する人もおられます。

国内では、東京事務所と大阪事務所を中心に、講座や報告会を開催したほか、子どもの性的搾取 (CSEC) 特別事業として、代表理事と CSEC チームの若者 2 名がブラジル会議に参加しました。昨年は、映画『闇の子供たち』が上映され関心を持つ人が増え、東京と大阪で開催した座談会には多くの方が参加し、思いを共有し、現状を知っていただく機会としました。

また、会員拡大やサポーター制度の導入を進め、財政基盤の安定を目指しました。

[組織運営]

理事会は合計 4 回開き、理事会メーリングリストでは、3 月末までに 911 回のやりとりを通じて、協議を行いました。職員の福利厚生を含め、特にカンボジアの駐在スタッフの労働条件を改善しました。

事務局運営においては、事務局としての東京事務所の運営には、引き続き事務局長の牧田理事があたり、事務局会議等を通して業務指示し、また、代表理事の甲斐田も東京事務所の職員にメール等で業務指示を行いました。東京事務所 1 名、カンボジア事務所 1 名の職員の退職に伴い、東京事務所 2 名、カンボジア事務所 1 名の職員のリクルートを行い、大阪事務所にも職員を 1 名採用しました。(現在、フルタイム 2 名、パートタイム 3 名の体制)。パートタイムを含め希望者には社会保険への加入を行いました。

近い将来認定 NPO 法人申請をするにあたり、会計専門のアドバイザーから研修を受け、説明責任を十分に果たせる会計制度を目指しました。

前年度に引き続き、セクシュアルハラスメント研修を実施し、活動する上での「安全で安心できる活動ガイド」を会員とボランティアに配布しました。

2. 発展途上地域の子どもの支援事業

1) カンボジア・プロジェクト

3つのパートナー団体との協働で、1) 子どもの性的搾取、人身売買、児童労働の防止、2) 被害少女・女性の社会復帰支援、および、3) 学校における子どもの権利教育の推進、に取り組んだ。

具体的には、以下の事業を実施した。

① パートナー団体：子どものためのヘルスケアセンター（HCC）

スバイリエン州チャントリア郡における子どもの人身売買・児童労働防止ネットワークづくりと収入向上	
期間	2008年4月～2009年3月（2006年に開始。3年目）
目標	児童労働と人身売買のリスクが高いスバイリエン州の地域において人身売買をなくす
目的	学校を拠点とした人身売買防止ネットワーク(SBPN：School Based Prevention Network)を組織し、子どもたち自身の手で子どもの権利、人身売買の危険について意識啓発を行うと同時に、収入向上プログラムと奨学金プログラムによって、リスクの高い子どもたちを人身売買の危険から守る。
内容	新たにチャントリア郡内10の小学校、中学校に10名からなるSBPNを組織し、子どもの権利や人身売買の手口、都会へ出稼ぎに行くことの危険性、児童労働、ジェンダー、DVについての研修を実施した。合計20の学校の200人の子どもたちが、どれだけの知識が増えたかテストを行い、足りない知識を補うためにさらに復習した。この結果、再テストのときには知識がかなり増えていた。
	研修を受けた子どもたちが、それぞれの学校や村、家庭で啓発活動を実施し、この活動で学校の子どもの5544人、村の住民200人、合計5744人が情報を受けた。また地域のリーダーから成るネットワーク(CBPN Community Based Prevention Network)による啓発活動によって3871人が情報を受けた。
	新たに25世帯に対する収入向上プログラム(牛銀行、家庭菜園、貯蓄組合)を実施しただけでなく、過去に支援した20世帯に対して農業技術指導を強化し、野菜の種を配布し、一部の家庭にはかんがい用ポンプを支給し、井戸建設も支援した。こうした家庭では、空心菜、すいか、キャベツ、さやいんげんなどの野菜を市場で販売し現金収入が増え、出稼ぎのリスクが軽減されただけでなく、子どもたちの栄養補給にもつながった。
	奨学金支給プログラムを継続し、50名の子どもに文房具セット、スクールバッグ、制服、米を支給。さらに通学が困難な少女50名を選定し、米の奨学金を支給した。
国際ボランティア貯金、JICA基金、サッポロビール労働組合、真如苑、アジアングラス21、個人の方などからの支援金により実施。※支援内容：ワークショップ費用、牛、野菜の種、かんがいポンプ2基、井戸2基、文房具、制服、米、学校のトイレ2基・井戸8基、HCCスタッフ交通費、HCCスタッフ人件費など、36,906ドルを支援。	

なお、これまでHCCを通して支援して建設した井戸に関しては、RDI(Research Development International)という専門機関において水質検査を実施。いずれの井戸からも砒素は検出されなかった。学校のトイレに使用するために建設した井戸の一部からは飲料水に適さない水質とわかったものがあり、飲料を止めるよう指導した。

② パートナー団体：フレンズ・インターナショナル

チャイルドセーフプログラム	
期間	2008年8月～2009年2月（2004年に開始。3回目）
目的	路上で暮らしたり働いたりする子どもたち（ストリートチルドレン）を性的虐待・性的搾取、暴力、麻薬などさまざまな危険や権利侵害から保護する。
内容	新たに、バイクタクシー、トゥクトゥク運転手、ホテル（インターコンチネンタルなど14のホテル）の従業員、旅行会社社員など200人に研修を実施、メンバーの認証を行った。すでにチャイルドセーフメンバーとなっているバイクタクシー、トゥクトゥク運転手300人と、14ヶ所のネットカフェをモニタリング。4つの都市のチャイルドセーフのスタッフの24人がカウンセリングスキルなどについて研修。また、チャイルドラインのスタッフ15人も研修を受けた。
マンスリーサポーターやその他のご寄付によって支援。※支援内容：トレーニング費用、トレーナー人件費、メンバーを推奨する宣伝費など、2,815ドルを支援。	

③ パートナー団体：アフエシップ（AFESIP）

幼い子どもを持つ人身売買・性的搾取の被害者への保育サービス事業	
期間	2008年4月～2009年3月（2005年9月に開始。4年目）
目標	性的搾取・性被害を受けた少女・女性の自立
目的	アフエシップの運営する職業訓練所を兼ねたシェルター内で、保育サービスを実施し、幼い子どもがいる少女・女性が安心して職業訓練を受けられ、かつ子どもたちが健やかに育つ環境を整える。
内容	アフエシップのシェルター「トムディセンター」では、社会復帰を支援するために職業訓練をおこなっているが、そのような女性も職業訓練を受けられるように保育サービスを実施した。この事業によって、お母さんが職業訓練を受けている間の子どもたちの居場所を確保するとともに、子どもに必要な保育士、そして子ども用品を用意することで、彼女たちが安心して職業訓練に取り組めるようにするとともに、子どもの世話を理由にセンターに入る事を躊躇していた人たちがセンターに入れるよう後押しし、子どもたちの健やかな成長を手助けした。さらにトムディセンターで訓練を終え、縫製所「アフエシップ・フェアファッション」で仕事をしている女性たちのために保育サービスを開始した。
2008年度は、てのひら～人身売買に立ち向かう会、尚綱学院大学、マンスリーサポーター、その他の個人の方々からのご支援により実施。※支援内容：保育士の人件費、子どもたちへの食費、衛生用品、医療費などトムディセンターに3,529ドル、フェアファッションに1,141ドルを支援。	

2008年度も理事がカンボジアに出張したことにより、今後の支援の展望を検討することができた。

牧田東一理事	期間 2008年8月19日～23日 内容 スパイリエン事業評価の指導
内田直仁理事	期間 2008年11月16日～18日 内容 旅行業界で子どもの性的搾取を防止するコードプロジェクトについてエクパットカンボジアと連携を検討
藤井浩子理事 渡邊奈美子理事	期間 2009年3月20日～26日 内容 スタディツアーに参加。スパイリエンのプロジェクトの視察

2) インド・プロジェクト

① パートナー団体：バタフライズ

時期	2009年2月
目的	危険にさらされたり虐待にあったりしたりしている子どもたち、特にデリーのストリートチルドレンに安全な場所を提供する。
内容	バタフライズがレジリエンスセンター建設のために土地を購入したため、レジリエンスセンターの建設資金を支援した。
これまでの預かり金と2008年度に集まったご寄付の合計1,988,266円を支援。	

3) シーライツトレード・プロジェクト

①2008 年度売上実績 254,680 円

主な販売実績

日付	内容	場所	売上
5/6(火)～11(日)	※委託販売 (事業メンバー) 「クロマー100枚 100通り展」にて、HCCのクロマーのほか、HCCのクロマーをアフエシップで仕立てた洋服を販売。	神奈川・鎌倉	76,400 円
6/14(土)	カンボジアスタディツアー報告会	東京・文京シビックセンター	7,800 円
5-6 月	「児童労働反対世界デー・キャンペーン 2008」賛同イベント	シーライツの HP を通じたネット販売	2,500 円
8/31(日)	「闇の子供たち」座談会	東京・JICA ひろば	2,500 円
9/14(日)	丸幸ビル NGO まつり	東京事務所	10,500 円
10/4(土)	※委託販売 (事業メンバー) 展示会で、アフエシップの洋服やカンボジアのクロマー等を販売。	東京・事業メンバーの店舗	74,100 円
10/4(土)～5(日)	グローバルフェスタ JAPAN2008	東京・日比谷公園	31,780 円
12/20(土)～21(日)	ワン・ワールド・フェスティバル 2008	大阪・大阪国際交流センター	7,500 円
3/27(金)	チャリティコンサート～闇の子供たちを救う～	宮城・仙台	1,000 円

2008 年度は、講座やイベント会場などで商品の展示販売を 8ヶ所で行った。年度当初の売上目標は 10 万円だったが、実績は 62,580 円だった。

毎年 5 月から 6 月にかけて開催される、児童労働反対世界デー・キャンペーンの賛同イベントとして、1 口 1,000 円の寄付に対してカンボジアのマスコットを 1 個プレゼントするという内容のアクション・メニューをホームページ上で行った。リアクションがあったのは 2 名だが、2 名ともマスコットが友人に好評だったということで、リピート寄付をいただいた。

事業メンバーによる委託販売※は 2 回で、売上目標の 20 万には及ばなかったものの、売上全体の 59% を占める売上となった。

秋頃からインターネット販売を開始する予定だったが、商品の在庫不足、人材不足、リサーチや商品開発ができなかったため、保留となった。

②2008 年度支出 175,818 円

内訳

仕入費	110,716 円
旅費交通費	3,640 円
通信・運搬費 (国外・国内)	15,772 円
委託販売手数料 (上代の 3 掛け)	45,570 円
印刷製本費 (1 名カタログ希望者対応)	120 円

※仕入担当の事業メンバーが 8 月に自費で渡航した。その際、HCC、アフエシップ以外のフェアトレード商品の仕入れを行った。また、カンボジア事務所を通して定期的な仕入れも行った。

※委託販売時の手数料を、売上 (上代) の 30% と定めた。

③2008 年度純利益 78,862 円

3. 発展途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

1) スタディツアー

第 1 回目

期間	2008 年 8 月 26 日(火)～9 月 2 日(火) 6 泊 8 日
参加人数	12 名
訪問地	カンボジア (プノンペン、スバイリエン、シエムリアップ)
内容	3 つの現地パートナー NGO の訪問、プロジェクトの視察、観光

- ・ 8/2 (土) に事前研修会を開催した。
- ・ ツアー報告をカンボジアだより (ブログ) に掲載した。

第 2 回目

期間	2009 年 3 月 20 日(金)～3 月 27 日(金) 6 泊 8 日
参加人数	12 名
訪問地	カンボジア (プノンペン、スバイリエン、シエムリアップ)
内容	3 つの現地パートナー NGO の訪問、プロジェクトの視察、観光

- ・ 2/22 (日) に事前研修会を開催した。
- ・ ツアー報告を会報に掲載した。

2) 学習会・講演会の開催

日付	名称	参加人数
6/14 (土)	スタディツアー報告会「カンボジアの児童労働と教育」 会場：文京シビックホール (東京) 報告者：甲斐田理事、ツアー参加者 4 名	33 名
8/31 (日)	座談会「闇の子供たち」 会場：JICA 地球ひろば (東京) 講師：勝間理事	51 名
8/20(水)	「インドの働く子ども」 & 展示と体験コーナー 会場：茨木市立男女共生センターローズWAM ファシリテーター：藤井理事、ボランティア数名(4 人)	約 12 名

講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催
6/8 (日)	児童労働反対世界デー・キャンペーン 「児童労働、教育、貧困～インド、そして世界の子どもたちは」	甲斐田理事	児童労働ネットワーク
6/11 (水)	「カンボジアの子どもの権利実現における ライツ・ベース・アプローチの可能性」	甲斐田理事	カンボジア市民フォーラム、桜美林大学 大学院国際協力専修
12/2 (火)	NGO 研究会「児童労働・人身売買への対応 能力 公開シンポジウム」	内田理事	主催：外務省
12/5 (土)	「カンボジアで出合った子どもたち」	藤井理事	聖和大学
12/7 (日)	CSEC ジャパンフォーラム in 横浜 「子どもの人身売買、性的搾取をなくしていく ために」	甲斐田理事 渡邊理事	CSEC ジャパンフォーラム実行委員会
12/13 (土)	第 10 回アジア人権賞授賞記念のつどい「カンボジア 戦禍を生き延び、未来をつくる」	甲斐田理事	アジア人権基金
12/16 (火)	子どもの性的搾取をなくそう 第 3 回子どもの性的搾取反対世界会議報告	甲斐田理事	桜美林大学
2/3 (火)	平成 20 年度人権啓発指導者育成セミナー	勝間理事	(財) 東京都人権啓発センター

2/13 (金)	「カンボジア子どもとの仕事—現実、可能性と夢」	宇野 (カンボジア事務所)	日本社会事業大学
----------	-------------------------	---------------	----------

その他、パネル貸出

6/23-7/4 「世界がかわした約束～子どもの権利展～」 主催：(財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

3) 出版

①カンボジア・プロジェクト

時期	2009年2月
内容	カンボジアのシエムリアップで開催されたストリートチルドレンによる写真ワークショップに関するブックレット『想像してみて!』を出版 (資金提供：小星靖恵さん、編集：小味かおるさん)

②インド・プロジェクト

時期	2009年3月
内容	ヒューマン・ライツ・ウォッチ著の債務児童労働についての本『小さな変革 ～インドシルクという鎖につながれる子どもたち (“SMALL CHANGE: Bonded Child Labor in India's Silk Industry”)』を出版 (翻訳：関西の翻訳チーム 監訳：会員の金谷美和さん、久木田由貴子さん)

③子どもに関する国際協力の入門書

時期	2008年度に各理事およびスタッフが執筆 (2009年出版予定)
目的	発展途上国の子どもに関する国際協力や、日本の子どもを取り巻く問題への理解を促進

4) 会報

プロジェクトや活動の状況の報告や、子どもの権利を普及する目的で、会報 62、63、64、65号を発行し、会員、寄付者、関係者などに配布した。65号から、カラーページを取り入れデザインを一新し、名称も「子夢子明」から「シーライツ・ニュースレター」に変更した。

5) インターネットを通じた情報発信、ブログ

カンボジアだよりのほか、東京事務所・大阪事務所よりブログを更新し、ホームページの内容も随時新しい情報に更新した。ホームページを通じた資料請求・問い合わせ数が、08年と比べ2倍以上になっている。

6) リーフレット

支援者拡大ツールとして、子どもの権利についてのリーフレットを助成金を得て作成。

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

1) 子どもの権利条約普及講座

日本国内で子どもの権利条約を普及し、子どもの権利に関して理解を深めるため、東京と大阪で講座やワークショップを実施した。

① 子どもの権利条約セミナー（東京）

日時	名称	参加人数
12/20(土) 15時-17時	『闇の子どもたち』をなくすためにできること 会場：早稲田大学 講師：荒牧重人理事、甲斐田理事 内容：第1部 ワークショップ・講演 「自分を大切に思う気持ち～日本の子どもと自己肯定感」 第2部 ワークショップ・ディスカッション 「子どもに対する暴力と子どもの権利」	31名

【受講者の感想】

- ・レクチャーだけでなく、ディスカッションや簡単なワークショップなどがあり、また二人の方からのお話で多角的にアプローチがあり良かった。
- ・人権＝ともに生きる、生きる権利＝Survival－生き残る権利、この考えの根本がわかり、このような活動が単なるチャリティにならずにすむことが理解できた。
- ・日本でもインターネットホットラインセンターに通報すれば悪質なサイトが摘発されると聞き自分にできることとしてやっていきたい。

② 子どもの権利条約普及 連続講座（4回）（大阪）

日程	名称	参加人数
6/15（日）	「わたしが学校に行かずに働くわけ」～カンボジアの子どもたち～ 講師：甲斐田理事、藤井理事	20名
7/11（金）	『エイズと薬物の被害を受けるカンボジアと世界の子どもたち～どうしたら子どもの権利を守れるか～』 講師：工藤 律子さん（ストリートチルドレンを考える会）、甲斐田理事、藤井理事	50名
9/20（土）	「子どもと家庭に寄り添って・・・三光塾の取り組み」 講師：側垣 一也さん、藤井理事	計 10名(含講師&スタッフ)
11/2（日）	「日本の子どもと子どもの権利条約－ジェンダーの視点から」 講師：丹羽雅代さん、藤井理事	計 6名(含講師&スタッフ)

③ その他

11/22,23(土日)「子どもの権利条約フォーラム in みえ」に参加、分科会でワークショップを担当した。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

1) 各ネットワークに参加

- ・(特活)国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・(特活)関西国際交流団体協議会の会員を継続
- ・(社福)大阪ボランティア協会 NPO 推進センターのパートナー登録を継続
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続
- ・在カンボジア NGO 日本人ネットワーク (JNNC) の会員を継続
- ・人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) の会員を継続
- ・教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) へ入会
- ・CSR 推進 NGO ネットワークに参加
- ・チャリティ・プラットフォームに参加、同ネットワークの定額寄付金基金事業に参加。

2) 共同イベントの参加

時期	名称	会場
4-6 月	児童労働反対世界デー・キャンペーン* (児童労働ネットワーク)	大阪御堂筋、UN ハウス ウ・タン ト国際会議場
9/13 (土)	NGO まつり in 上野 ボランティアの協力のもと、シーライツトレード商品や書籍の販売と、パネル展示を行った。	丸幸ビル
10/4-5(土日)	グローバルフェスタ JAPAN2008 たくさんのボランティアに手伝っていただき、シーライツトレード商品と書籍の販売、パネル展示をした。パネルは、CSEC チームが作った子どもの性的搾取に関するものだった。	日比谷公園 (東京)
12/20-21(土日)	ワン・ワールド・フェスティバル** (関西国際交流団体協議会)	大阪国際交流センター

*ホームページ (マスコット販売)、児童労働反対ウォーク、児童労働反対世界デーシンポジウムにパネリストとして甲斐田が参加。

**ブース出展のほか、座談会「闇の子どもたち」を開催。進行は甲斐田理事。

3) 政策提言

「子ども買春・子どもポルノ禁止法」改正に向けて、「なくそう！子どもポルノ」キャンペーンに賛同団体として参加した。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

1) 理事会の運営

年4回、東京事務所にて理事会を開催し、理事会メンバーリストで月平均76回協議・情報交換をした。

4/26(土)	第4回理事会 主な議題：2007年度事業報告・収支決算案、2008年度事業計画・予算案
6/14(土)	第5回理事会 主な議題：事務局長・事務所長任命、緊急時のための基金の設置について
10/18(土)	第6回理事会 主な議題：上半期決算、社会保険への加入、関西の理事就任について
2/22(日)	第7回理事会 主な議題：2008年度の振り返りと決算見込み、2009年度の事業計画・予算

2) 各事務所の組織運営

東京事務所	2名のスタッフが週5日勤務で事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報等）を分担。また、CSEC事業、シーライツトレード事業のサポートを行った。2月に1名退職、3月に1名入職。 開所：平日9時半～17時半
大阪事務所	大阪事務所長とボランティアで仕事を行った。 開所：毎週水曜日13時～17時、日曜日
カンボジア事務所	所長と駐在スタッフ（1～2名）の体制でカンボジア・プロジェクト事業を進めた。8月に1名赴任、12月に1名退職、2月に1名所長として赴任、3月に1名退職。 開所：平日8時半～12時、14時～17時半

3) 広報

動画の作成

事務所やホームページへの来訪者に対して、シーライツの活動をわかりやすく知ってもらえるよう、ボランティアの協力を得て約8分の動画を作成した。各事務所で所有するほか、09年1月よりホームページや寄付サイト等で公開。

4) 資金調達

①助成金・業務委託金

[採択]

団体名・助成金名	金額	助成内容
連合・愛のカンパ	25 万円	カンボジア事業 (2 年目)
(社福)大阪ボランティア協会 / (特活) チャリティ・プラットフォーム	37 万円	支援者拡大プログラムツール作成・コンサルタント費用
(独行)国際協力機構広尾センター NGO 組織強化のためのアドバイザー派遣	7 日間のアドバイザー派遣費	認定 NPO 法人制度の申請に関する指導
積水ハウスマッチングプログラムの会	60 万円 (積水ハウスマッチングプログラムの会より 30 万、積水ハウス(株)より 30 万)	カンボジア事業 (2009 年度事業)
J I C S (日本国際協力システム)	100 万円	人件費 組織基盤強化費
(独行)国際協力機構 世界の人びとのための JICA 基金 (業務委託)	50 万 40 円	カンボジア事業

[不採択]

団体名	申請内容
外務省国際協力局	平成 21 年度 NGO 専門調査員受入れ

②大口寄付 (10 万円以上)

寄付者	金額	指定寄付内容
国際ボランティア貯金 H20 年度配分金	857 万 1 千円	カンボジア事業 (2009 年度)
真如苑	229 万円	カンボジア事業、CSEC 廃絶キャンペーン特別事業、組織強化費
真如苑	266 万 5 千円	組織強化費 (2009 年度)
本山 昭雄	20 万円	カンボジア事業 (HCC・牛銀行)
尚綱学院大学 クリスマス献金	142,393 円	カンボジア事業 (AFESIP・保育事業)
(特活)エファジャパン	10 万円	CSEC 廃絶キャンペーン特別事業

③会員

2008 年度会員総数 個人会員 223 名+団体会員 2

内訳

正会員合計 (前年比)	一般正会員	学生正会員	子ども正会員	
84 (13.5%増)	74	3	7	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	学生賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員 (口数)
139 (23.0%増)	107	29	3	2 (21 口)

※株式会社アーバン・コーポレーション団体賛助 20 口 (60 万円)

2008 年度事業計画案において掲げた目標、個人会員 330 名＋団体会員 30 口、には到達することがかなわなかったものの、個人会員の総数は着実に増加。

④ マンスリーサポーター

毎月一口 1,000 円からの寄付（口座振替）で、カンボジア・プロジェクトをサポートする寄付金制度を 9 月に新設。3 月末時点で 21 名の方が登録。

⑤ その他

- ・ ブラジル会議（11 月）へのカンパ 196,000 円（エファジャパン含む）
- ・ 冬の募金 108,000 円
- ・ 書き損じはがき・未使用はがき・ギフト券 16 件
- ・ エグゼキューブ株式会社のカatalog「EXEPASS」に掲載され、ご寄付いただいた。

5) 危機管理

「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいて理事・事務所職員に対するセクシュアルハラスメント防止の研修を実施。また、昨年度は人事に関しての組織運営改善の相談、ニュースレター用写真の使用についての相談があった。いずれも運営危機に及ばずに進行した。

7. 特別事業 子どもの性的搾取に関する啓発活動

2008 年 11 月に開かれたブラジルでの子どもの性的搾取反対世界会議への参加を目指し、学習会やチームのミーティングを行った。

①学習会

日付	名称	参加人数
5/16 (金)	第 1 回学習会「子どもの性的搾取根絶に向けた世界の動きと日本の法改正」(非公開) 会場：早稲田学 講師：宮本潤子さん (ECPAT/ストップ子ども買春の会共同代表)	15 名
7/12 (土)	第 2 回学習会「子ども買春・子どもポルノをなくそう！感じよう、子どもの気持ち ～カンボジアの子どもの性的搾取とその取り組みから」ワークショップ 会場：早稲田大学 講師：甲斐田理事	26 名
10/18 (土)	第 3 回学習会「ブラジル会議に向けて～新しい形態の CSEC～」 会場：東京事務所	4 名

②第 3 回子どもの性的搾取に反対する世界会議 (ブラジル会議) 関連事業

日付	内容
2008 年 4 月～	会議参加に向けて学習会の開催、会議参加準備
8/18-19 (月火)	バンコクのブラジル会議地域準備会合に参加 (甲斐田理事、渡邊理事)
8/29 (金)	「なくそう！子どもポルノ」キャンペーン中間報告会 (法改正の署名について進捗) (主催：ユニセフ協会) (菊地裕美子さん)
10/6 (月)	第 3 回世界会議に向けた国内準備会合に参加 (渡邊理事、滝藤奈都子さん、菊地さん)
11/25-28 (火-金)	ブラジル会議参加 (滝藤さん、望月裕太さん、甲斐田理事)
12/19 (金)	神奈川県自治労本部におけるブラジル会議報告会 報告者：甲斐田理事
2009 年 3/8 (日)	ブラジル会議報告会 会場：大阪 NPO プラザ 報告者：滝藤さん、望月さん
3/29 (日)	ブラジル会議報告会 会場：JICA 地球ひろば 報告：滝藤さん、望月さん、甲斐田理事

2008 年 11 月 25～28 日にブラジルのリオデジャネイロで開催された「子どもと青少年のための子どもの性的搾取に反対する世界会議」に、NGO 代表として甲斐田理事が、若者代表として CSEC チームメンバー 2 名が参加した。その後、報告会を開催。

*現在、ブラジル会議報告書を作成中 (6 月完成予定)

③CSEC チームの活動

- ・定期ミーティングの開催 (2008 年 6 月-2009 年 5 月 計 11 回)、東京ウィメンズプラザなどにて。
- ・合宿を 2008 年 6 月 28-29 日 (土、日) に行った。(場所：草津温泉)

④ネットワーク

日本ユニセフ協会が中心となって 2008 年 3 月から始めた「なくそう！子どもポルノ」キャンペーン (法改正を求める署名活動) に賛同団体として参加。甲斐田理事、勝間理事は呼びかけ人としても参加。
(2009 年 4 月 15 日で署名の受付は終了)

*2007 年度から始めた特別事業 子どもの性的搾取に関する啓発活動は、2008 年度末で終了した。今後は、カンボジア・プロジェクトや子どもの権利普及事業などで、引き続き子どもの性的搾取に反対する活動を行う。また、子どもの性的搾取を防止するために、情報収集にも努める。